

実践編 Part-5 その4

今月のお客様を紹介します。私の高校時代の12学年下の後輩の創君。12学年下なので、もちろん在学中には、面識はなく、お互い社会人になって地元の商工会議所のお付き合いの中で、出身校が一緒で12学年下なのがわかりました。同じ高校出身とは、なにか親近感がわきますね。

この原稿の締め切りまでは、少々余裕がありましたが、後輩ならば、頼めばNOとは云えないはず……。遠慮なくお願いしちゃいました。

腕を奮って調整していきましょう。



では、いつもの様に所見から

- 1、クリングスパッドが丸くて小さいので、大きなサイズに交換する。
- 2、クリングスパットの位置が高すぎるの、4ミリ程度低くする。
- 3、テンプル形状が合っていない。
- 4、モダンは、落ち込み角が浅すぎるので、耳介の付け根にトレースする。
- 5、前傾角は、そのままでも良さそう。

以上の点を特に注意しながら、フィッティングしていきましょう。

○反り角、テンプル幅・形状の確認



反り角は、このままで大丈夫そうです。

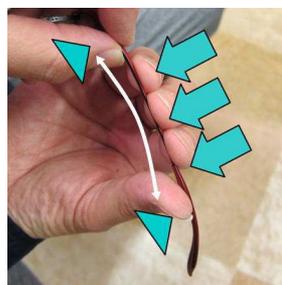


テンプル形状ですが、抱え込みの形になっているせいなのと、テンプル幅が少々狭いのでそれも調整していきましょう。



フレーム全体を観察すると、テンプルは抱え込み形になっていて、お客様の顔の側面の形状とは、だいぶ違います。

テンプル形状調整

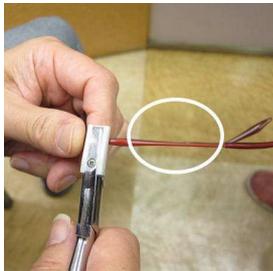


テンプルを逆反りさせながら、形状を整えていきます。両親指を土台にして、逆方向に、反らせます。

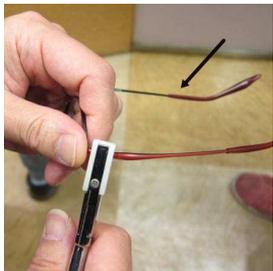


3本の指で何度か押し込むようにして形を作ります。左の調整は、フロント玉型の上下を逆にして作業します。

テンプル幅調整



テンプル幅を調整します。幅を広げますので、ヤットコはニシムラ No.642 になります。対のテンプルと重ね合わせながら(見ながら)開き角を広げていきます。



写真の様に、無神経に作業してはいけません。これでは、智がネジれてしまう事があります。いい加減な手さばきはダメです。



モダンの合口近辺がスッキリとしました。テンプルが顔の側面に接する箇所が自然です。

○クリングスの調整

交換前



交換後



大きさを比べてみる



丸い形は、見た目に可愛いですが、接地面積が少なく、実際のフィッティングには向いていません。通常のに交換しましょう。

クリングスパッド位置の調整

調整前



未調整では、パッドの位置が高すぎます。このまま4mm程度は下げましょう。

左クリングス調整の手さばき



クリングス足の観察です。ごく一般的な下ロー付けタイプのスネーククリングスです。